The Comet

The Newsletter of K. International School Tokyo

Volume 25 | Issue 4 | June 2022

今号では・・・

▶02...新しいスクールロゴ
▶02...新校舎建設Update！
▶03...理事長よりご挨拶
▶05...Grit：チャンピオンの朝食！
▶08...G11地域清掃活動
▶09...JMMUN（日本都市模擬国連）会議
▶10...夏休み中のセルフケア
▶11...ビジネスコンサルタント体験
▶11...Schoology導入について
▶12...ASIJでの模擬国連会議
▶13...数学科ニュース
▶15...2021–22年度KISTでのCAS活動

> 「今より少し良くなるために、あと少しだけ努力しなさい」
>
> —Gordon B. Hinckley

学校長より

夏休み中の旅行について

もう6月です。もうすぐKISTの2021–22年度が終わろうとしているのが信じられません。たくさんの学びがあり、新校舎の建設が始まり、COVID-19に関連した課題もあり、波乱万丈の一年でした。スタッフ、学校関係者のサポートと協力のもと、学習への影響を最小限に抑えながら、これらの課題を乗り越えることができ、またその過程で楽しいこともありました。

日本国内はもとより、世界各国で渡航制限が緩和され、過去2年間に比べ、旅行の機会も増えています。この機会に海外旅行に出かける人も多いのではないでしょうか。私も母国カナダに小旅行に行く予定です。

旅行の計画を立てる際には、入国制限や検疫の予想が突然変更される可能性があることを念頭に置いておいてください。定期的に帰国時の入国規定を確認し、それに従って海外旅行の計画を立てることをお勧めします。日本への旅行・入国に関するガイダンスは、以下のウェブサイトをご参照ください。

Web 外務省：新型コロナウイルスの蔓延防止に向けた入国措置について：
https://www.mofa.go.jp/mofaj/ca/fna/page4_005130.html

Web 外務省：国際的な人の往来再開に向けた措置について：
https://www.mofa.go.jp/mofaj/ca/cp/page22_003380.html

夏休みは、家族で過ごし、普段はなかなかできない活動に参加できる素晴らしい時期です。ゲームをしたり、街を探検したり、家族でアウトドアを楽しむ機会でもあります。この夏、旅行に行く予定がある人もない人も、皆さんがベストを尽くせるように、そして8月にまたKISTで皆さんをお迎えするのを楽しみにしています！

Warm regards,

Kevin Yoshihara Ed.D.
Head of School/Elementary School Principal

重 要 な 日 程

2022年6月
15 Last day of school for students (Half day for students)
15 (K1-G11) Semester 2 reports issued
15 (K1-G3) After care not available
16-Jul 1 Office open
20-Jul 1 Summer program session 1

2022年7月
2-31 School closed

2022年8月
1-12 Summer program session 2
18 (K1/K2/K3) Parent welcome night
22 First day of school for all students
22 (K2-G3) After care begins this week
23 (G6-G10) Mathematics diagnostic testing
23-25 (G12) DP diagnostic exams
24 (G1-G5) Parent welcome night
26 (G6-G12) Parent welcome night (*Online)
27 SAT@KIST

WE ARE A CIS ACCREDITED SCHOOL

新しいスクールロゴ

今号の*The Comet*の最初のページでお気づきかもしれませんが、新しいKISTのロゴを導入しました。よく見ていただくと、次のような変更点があります。

- 使用されている赤と緑の色が再定義されました。
- ロゴの上部にある葉の形は、"平和"と"知恵"を表すのによく使われるオリーブの葉をデザインしています。これは、KISTのミッションとより密接に連携しています。
- 新しいロゴの全体的な形は、家紋や紋章のように見えるように、底辺が先細りになっています。

K. International Preschool（KIPS）のロゴも新しいKISTのデザインに合わせて変更されました。

新旧のロゴに大きな違いはありませんが、創立25周年を迎えるにあたり、よりシャープでモダンな印象のデザインになったのではないかと思います。

新しいロゴは今後数ヶ月の間に順次、学校の文書に表示されるようになる予定です。

新校舎建設Update!

先日E-Communications No. 293で4月8日に行われた体育館解体工事前の『さよなら＆ありがとう 体育館』生徒集会の様子をご案内しましたが、日々解体が進む様子を目にすると、新校舎建設が着々と進んでいるうれしい気持ちと、16年間の思い出の詰まった体育館がなくなっていく寂しい気持ちとが入り交じり複雑です。

体育館の解体工事が7月中旬位に終わるといよいよ新校舎建設工事が始まります。完全防音の2つの練習室を備えた2つの音楽室、4つのサイエンスルーム、フルサイズのバスケットコートの体育館、生徒用ランチルームなどが入る6階建て新校舎は、順調に工事が進めば2023年10月末頃の完成に向けてとなります。

今後この*The Comet*上で定期的に建設状況を報告してまいりますので、皆さんたのしみにしてください！

理事長よりご挨拶

G12の生徒たちはDPの本試験が無事終了し、6月3日に卒業式がおこなわれました。卒業生の皆様、おめでとうございます！皆様の今後の活躍を期待しています。

さて、以前のコメットでもお伝え致した通り、学校の運営母体である理事会の重要な役割の一つが、学校のビジョンとミッション、方針などを定め、それらを達成するための戦略を立て、学校長などのマネージメントチームを通して実行を依頼し、その効果を検証することです。

学校のミッションの中核は、「学習に意欲的な子どもたちに質の高い教育を提供し、国際社会に貢献する学力的にも人格的にも優れた有能な若者を育成する」事です。

KISTは、そのミッションを達成することを目的に、以下の教育目標を定めています。

- 変化し続ける国際社会で生徒が成功するために必要なリサーチスキルや、分析的で論理的そして批判的な思考力、ライティングとプレゼンテーションやディベートなどのコミュニケーシンスキルなどの高度なスキルと、将来の学問やキャリアに備える為のハイレベルな知識、そしてボランティア精神などを養う機会を得られるIBディプロマプログラム（DP）を全ての生徒が履修し、それらのスキルや知識を高いレベルで身に付ける。DPの最終試験において高得点を取得し、それらが身に着いたことを国際的に証明する。
- 希望する生徒がKIST卒業後も質の高い教育を受けられるよう、世界の一流大学への進学をサポートする。

理事会は学校の教育目標を達成するために、来学年度よりG6からG8のプログラムをMYPからKIST独自のLower Secondaryプログラムに変更することを決定し、現在準備を進めています。DPとIGCSEのさらなる成功に寄与する効果的なプログラムとなるよう、科目毎にカリュキラムの見直しと検証を繰り返し行うなどして質を高めていきます。

さて、先日G9を対象に4月に行われたPSAT 8/9（English/Math）の結果が発表されました。

G9のKISTの生徒は、

- Total scoreでは、31%の生徒が世界Top 1%に入り、69%の生徒が世界Top 5%、80%の生徒が世界Top 10%に入りました。
- また、English scoreでは、6%の生徒が世界Top 1%に入り、26%の生徒が世界Top 5%、51%の生徒が世界Top 10%に入りました。
- そして、Math scoreは、49%の生徒が世界Top 1%に入り、77%の生徒が世界Top 5%、91%の生徒が世界Top 10%に入りました。

これらの素晴らしい結果は、KISTにおいて質の高い教育が提供されている事の、一つの証拠となると思います。

最後に、今学年度、理事会ではKIST guiding beliefs（信条）を以下の通り変更致しました。

「より多くの生徒が本校での教育機会を得られるよう、財政的な問題に配慮のある制度の確立・維持及び経済的で効果的な財政管理の維持が求められる。」

KISTでは諸外国の大学で採用されているシステムなどを参考にして、より多くの人が質の高い教育を受けるチャンスが得られるよう、財政的な問題に配慮のある制度を確立していきたい思います。

Takako Komaki
Board President/Associate Head

幼児教育ニュース

KISTファミリーの皆さん、こんにちは。お元気で過ごされていますか？*The Comet*も今年度最後の発行ですね。小さい子ども達と過ごしていると時間が経つのがとても早く感じるのは私だけでしょうか。今回は、年度末にあたり、各クラスの先生方に一年を振り返ってもらいました。

K1A

K1Aの生徒たちは、英語力、行動、技能（微細運動、粗大運動）、社会性の欠如など、いくつかの課題を抱えて1年をスタートしました。しかし、徐々に、しかし確実に、K1Aの生徒たちは殻を破り、活躍し始めました。今では、社会性、優れた行動力、そして優れた学力も備えています。文字の音を混ぜ合わせ、短い単語を読むことができるようになりました。中には、学年を越えたレベルを読んでいる子もいます。全体として、私たちは素晴らしい年を過ごしました。よくやりました、K1A! **—Ms Claire Yoneyama**

K1B

この1年間私は子どもたちの言葉の発達にとても感心しています。K1Bの生徒たちは、自分の考えをとても雄弁に表現することができ、興味深く、洞察に満ちた、時にはとても面白い会話をすることができました。COVIDの制限にもかかわらず、子どもたちは他の手段で適応し、ハードルを乗り越えることを学びました。これは、子どもたちが思考力を駆使して言語能力を高いレベルまで発達させるのに役立ったと思っています。これからも問題解決と楽しさを追求してください。 **—Ms Emma Argentum**

K2A

通信教育などCOVIDに関連する様々な事柄がありましたが、K2Aの皆さんは私と同じように学校生活を楽しんでくれたことと思います。私たちは、オープンマインドになるために多様な文化について学び、リスクテイカーになるために多くの「ショー＆テル」に挑戦し、思考力を使うなど、楽しい時間をたくさん共有することができました。そして何より、「友達の心を傷つけないこと」を一生懸命学びました。友達を救うために、世界を救うために、思いやりのある人になろうね。K2As、私たちの蝶のように、もっと高く飛んで行ってください! **—Ms Eri Ozawa**

K2A

今年のK2Bは驚くほど素晴らしい年でした。遠隔学習やCOVIDの案件があちこちに飛び出し、新しい建築が始まったとしても、数え切れないほどの素晴らしい思い出を作るのに困ることはありませんでした。生徒、先生、保護者のコミュニティとして、私たちは皆、どんな状況でもベストを尽くせるよう適応し、できる限りのことをすることを学んだと思います。 **—Mr Axel Norwood**

K3A

今年のK3Aの生徒たちと一緒に仕事ができたことは、本当に嬉しいことでした。パンデミックの影響でまだ多くの制約がありますが、私たちは一緒にたくさんの思い出を作りました。今年のグループは、クラスのご褒美ジャーがいっぱいになった回数の記録を更新しました。クラスや専門的な授業でうまくいくたびに、ごほうびジャーを満タンにして、パジャマデー、映画デー、おもちゃデーなど、さまざまなイベントでお祝いしています。私の愛するK3Aの生徒たち! この1年で大きく成長した君たちは、1年生になってもスーパーな存在であり続けることを確信しています。 **—Ms Kay Shinada**

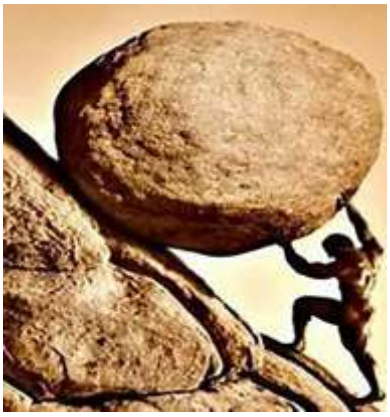
K3B

今年も残りわずかとなり、生徒の皆さんとお別れするのは寂しいですが、この一年で成長した姿を見ることができ、嬉しく思っています。畏敬の念や嬉しさを感じる瞬間から、彼らの大きな感情を表現するために私たちの助けが必要な時まで、思い出深い1年でした。幸いなことに、今年は長期の休校もなく、無事に終了しました。やったー！来年もそうであることを祈りましょう。K3Bの皆さん、いつまでも最高で、好奇心旺盛でいてください。一年生になっても頑張ってくださいね。 **—Mr Wilhelm Merchel**

今年も素晴らしい一年だったようですね。この夏、母国へ帰られる方も多いと思います。安全第一で、楽しい夏休みをお過ごしください。

Eri Ozawa
Early Childhood Coordinator (K1–K3)/
K2A Teacher

Grit：チャンピオンの朝食！



Malcolm Gladwellは、11世紀に起きたパレスチナでの戦いの後の"David and Goliath"という著作の中で、弱者が強者に打ち勝つという物語について述べています。平等ではない戦いの中で、予期しない形の結末が待っている場合があるという驚くべき出来事に、物語は焦点を当てています。この歴史的な事実からわかることは、「パワーや強さは見た目通りとは限らない」ということです。

最近では、現在進行形のウクライナ侵攻、無数の波や変異株が襲ってきたコロナウイルス感染症、そして予期できない気候変動がもたらす自然の力など、まるで私たちがGoliathsの中のDavidのように感じられることでしょう。

学校も同様で、生徒たちには良い成績を出すことが期待されており、それを達成するためには、とてつもない努力が必要となる場合もあります。私が本日お話したいのは、逆境に打ち勝ち、学習者の魂の勝者となる生徒たちです。

学校で常に良い成績を出している生徒たちに対して、もともとの能力や遺伝、もしかしたら富のおかげだと考えることがあるかもしれません。私たちは皆、そういった方程式に人々を当てはめ、ゆっくり座って傍観していたいものなのです。しかし、ハローウィーンのキャンディと同じように、人生において「ごほうび」が散らばっていることはめったにありません。学なければならない時、というのは必ずあり、近道や魔法はなく、ただ従来通り、地道に努力するしかないのです。

学界で、こういった努力を指す他の言葉があります。頭に浮かぶのはGrit（やり抜く力）です。Gritとは、勇気、決断力や性格の強さを表します。アカデミックな分野では、自分自身のエネルギーを使う能力、忍耐、試練に負けない頑強さのことです。これは、目標に向かって努力することで学び、鍛えられていくものとなります。やっていることが煮詰まった時、立ち止まり、深呼吸をして、他の視点から考えてみたり、同じ角度でもより強いエネルギーで取り組んだりしてみてください。無力感や力不足といった気持ちに負けることなく、いくつかの試練が実を結ぶのには、非常に大きな決断力と忍耐が必要だということを理解するのは大切です。

毎年学年度末には、生徒のやり抜く力を感じる出来事が多くあります。これは様々なタイプの能力を持つ生徒から、さらには、この大切なレッスンを学んだ時の気持ちからも見られます。どの人にも、自身の内面に秘めたヒーローがいて、それを解き放して自分の強みとして活用することができます。自分に疑問を持った時には、あきらめずに前に向かって進み続けることで、自分を変えることができるということを忘れないでください。「学校における挑戦は、最初の見た目ほど難しいことではない」のです。

前に進み続けるというのは、他の人に正しい種類の質問をしたり、サポートを得たりすることも含まれます。Gritは、継続している限り、目標への複数の道筋を示してくれます。

自分のGritを探り、たくさん集めましょう！

Clay M. Bradley
Elementary School Vice Principal/Student Care Coordinator

2021–22年度さくらメダル読書感想文コンテスト

本年度もインターナショナルスクール日本語教師会により「第13回さくらメダル読書感想文コンテスト」が開催されました。本校からは、低学年の部に5名、高学年の部に5名の作品を応募しました。

審査の結果、高学年の部では、優秀賞に**Shiki**（G5A）、**Tae Sung**（G5A）、努力賞に**Taiga**（G4B）が選ばれました。そして、低学年の部では、努力賞に**Amane**（G3B）、**Mirei**（G3B）が選ばれました。おめでとうございます。

低学年の部	高学年の部
Anna (G3A)	**Shiki** (G5A)
Lia (G3A)	**Prachi** (G5B)
Amane (G3B)	**Tae Sung** (G5A)
Mirei (G3B)	**Taiga** (G4B)
Yulia (G2A)	**Len** (G4B)

PYPニュース

今回の*The Comet*では、本年度から導入している新しい試験について紹介いたします。従来の紙ベースの年度末試験から、英国GL Educationのオンライン形式の試験へ変更いたしました。Progress Tests in English（PTE）とMath（PTM）は、カリキュラムの変更に沿って定期的に改訂されており、英国の生徒約35,000名の成績をもとに標準化されているもので、KIST生徒が現在どの位置にいるのかというのを正確に測ることができます。

新しいProgress Test Seriesの大きな特徴は、教員のためのより分かりやすく総括的な新しい形式の試験結果が提供されることです。これらの結果には、グループとして、また生徒個人の結果も含まれており、教員たちは有効活用することができます。試験結果における総括的なデータは、試験後直ちに提供されるため、教員たちは採点して結果データを集計表などにまとめる時間が省かれ、必要なデータをすぐに入手して活用することができます。保護者にとっても、より役立つ形式の結果をより早く入手することができるようになります。

数年を通じ、様々な点数システムに慣れていただく必要があります。GL Progress Testsでは「スタナイン」の点数システムを採用しています。つまり、お子さんの最終結果は9点中何点かで報告され、これは、本校のSAMEシステムと下記の通り関連づけられています。

Stanine	Level
1–2	Starting
3–4	Approaching
5–6	Meeting
7–9	Exceeding

もし少しでも変更があれば（例えばより高いレベルの試験を受験した場合など）、試験結果表にその旨を明記いたします。

また皆様には、各分野におけるお子様の点数や、英国の標準点数との比較についての情報もお知らせいたします。試験を紙ベースではなく、コンピューター上で行うことに慣れるのには時間がかかるかもしれませんが、これらの試験から保護者の皆様も有益な情報を得ることができるようになることを願っています。KISTで行っている試験について質問のある方は、お気軽に私まで連絡ください。

Oliver Sullivan
PYP Coordinator

エレメンタリーELS

お子さんが学校での出来事を振り返るのをサポートすること

多くの保護者の方は、学校から帰宅した子どもに「今日はどうだった？」と尋ねることと思います。子どもたちがその質問に答える時間、空間は、親子関係、学校と家庭の関わり、その日の学びを深める、概念に対して理解を高める、社会との関わりに対するサポートを受ける、説明する言語能力を高めるなど、様々な理由から大切なものです。

実際、言語教師および作家であるMax Brand（下記のリンクを参照してください）は、子どもがその日学校で起こったことを話す時、主要なアイディアを思い出して詳細な情報を追加したり、物語の構成方法を考えたりするなど、特に物語を話す言語能力を高めることができると指摘しています。これは異なる言語にも適用できることであり、お子さんがご家庭で話されている言語でその日起こったことを話すのは、英語の発展にも役立ちます。

大切なのは、子どもたちが話すきっかけを作ることです。子育てや教育に関するアイディアが掲載されているリンクを下記に紹介します。

Max Brand—**Helping Parents Talk with Students** (Choice Literacy)
- お子さんが話すきっかけとなる質問の例、より詳細に話すことができるようにサポートする
- 返答を我慢強く待つことへのアドバイス

Talking about school (Raising Children Network)
- その日あったことの特定の部分について簡潔に尋ねる質問の例

Bekki Linder—**How to Talk to Your Kids About Their Day at School** (Scholastic)
- お子さんがリラックスして保護者と話す時間を自分で決める方法へのアドバイス
- 保護者が聞きたいと思っていた部分と異なる出来事の話であったとしても、お子さんの話を聞き入れることへのアドバイス

上記のサイトが、お子さんが学校での経験をご家庭でより良く話すきっかけになれば幸いです。

Rachel Parkinson
Elementary ELS Coordinator/ELS Instructor (G4)

KIPSニュース

From the P0/P1 classroom...

ユニット6のテーマ「At the beach」では、海の生き物に焦点を当て、様々な種類の海の動物やビーチに関するトピックを学習してきました。子どもたちは、Music、Art、言語などのツールを使って、さまざまな種類の海生生物やビーチに関する知識や語彙を学びました。また、朝の遊びでは、P2のお友達と一緒に楽しいアクティビティを通して、水の動物を探検しました。海の動物たちの名前を正しく呼んだり、またそれらのポーズもできるようになりました。

ゴールデンウィーク以降、P0の子どもたちの身体的発達は順調です。音を使って自分の気持ちを伝えることができるようになりました。P1の子どもたちも先生の言葉をより深く理解し、様々な語彙を使って自分の気持ちを先生に伝えることができるようになりました。

スプリングコンサートの撮影では、まだ歩き始めで一箇所に長くとどまることができないP0の子どもたちにとって、大きなチャレンジでした。子どもたちを応援、やる気を引き出し、先生たちと子どもたちの総力を結集しなければ、実現できなかったことでしょう。

今年度も残すところあとわずかとなりました。今年は最も厳しい年の一つでしたが、私たちはこのパンデミックから自分自身と周囲の安全を守るために全力を尽くしました。

子どもたち皆は次の学年でも成長を見せてくれることでしょう。

Rinkal Sharma,
P0–P1 Teacher

From the P2 classroom...

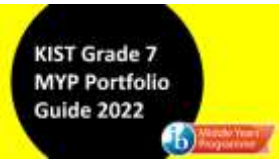
P2の子ども達は「At the beach」というテーマのもと、Language、Japanese、Art、Music、PEのレッスンを一日二回行い、学んできました。海の生き物の絵本を読み聞かせをしながら「これは何か知っている？」と海の生き物の名前を尋ねると、「パパ、ママが教えてくれた」「水族館に見に行った」と私たちが知らない珍しい生き物の名前を教えてくれ、家庭でのサポートを日々とても感じています。

一日二回のレッスンに加え、その他にも公園での戸外活動、コンサートの練習、卒園式の練習と子どもたちは楽しくて忙しい毎日を送っています。卒園式の練習の際に「もうすぐK1だね！楽しみ？」と聞くと「楽しみ」「早く行きたい」と言う子どものほかに「KIPSにずっといたい」と言う子どもがおり、嬉しい思いと同時にお別れの時期がやってきたなと寂しく感じています。公園での戸外活動ではシャボン玉遊びが大人気で毎回とても楽しみながらシャボン玉を追いかけて公園を縦横無尽に走り回って楽しんでいます。

KIPS P2はコロナウイルス感染症の防止のため、子どもたちはソーシャルディスタンスを保ち、パーテーションを使用して食事を摂り、その他の園内活動中はマスクを着用して過ごしています。この年齢の子どもたちには少し厳しい環境での保育生活だと思いますが、子どもたちは環境に適応して日々成長していく姿を見て、子どもたちの柔軟性、適応力に驚かされています。日々子ども達は手洗いや手指消毒を頑張って努めています。職員一同これまで同様に、手指消毒、体調管理を徹底し、6月17日には子ども、保護者、職員全員で楽しい思い出になる卒園式を迎えられることを願っています。

Sohta Ohashi
P2 Teacher

MYPニュース



KISTファミリーが生徒主導面談（SLC）でつながる

毎年、KIST MYPの生徒は、SLCで、家族に自分の学習経験を共有し、自分の長所や改善点を振り返ります。SLCは生徒が自分たちの達成したことを確認する良い機会です。

SLCの計画は、生徒が自分の作品と反省をまとめたポートフォリオを作成することから始まります。今年は、KISTでの生活をより広い視野で見ることができるように、ポートフォリオの作成方法を変更しました。

生徒たちは学業での成功に加え、ライフスキル、MYPのエッセンス、学習戦略、そしてやりがいを感じた課外活動の経験などをポートフォリオで表現しました。

これらの考察はすべて、IBの「学習スキルへのアプローチ」（ATL）によって組み立てられています。ATLは、すべての生徒の進歩の指標となるものです。

全体として、MYPポートフォリオとSLCは生徒と保護者の方にKISTでの学校生活をはっきりと見ていただく良い機会となりました。

Robert White
MYP Coordinator

IB Learner Profile Attributes

Inquirers
We nurture our curiosity, developing skills for inquiry and research. We know how to learn independently and with others. We learn with enthusiasm and sustain our love of learning throughout life.

Knowledgeable
We develop and use conceptual understanding, exploring knowledge across a range of disciplines. We engage with issues and ideas that have local and global significance.

Thinkers
We use critical and creative thinking skills to analyse and take responsible action on complex problems. We exercise initiative in making reasoned, ethical decisions.

Communicators
We express ourselves confidently and creatively in more than one language and in many ways. We collaborate effectively, listening carefully to the perspectives of other individuals and groups.

Principled
We act with integrity and honesty, with a strong sense of fairness and justice, and with respect for the dignity and rights of people everywhere. We take responsibility for our actions and their consequences.

Open-Minded
We critically appreciate our own cultures and personal histories, as well as the values and traditions of others. We seek and evaluate a range of points of view, and we are willing to grow from the experience.

Caring
We show empathy, compassion and respect. We have a commitment to service, and we act to make a positive difference in the lives of others and in the world around us.

Risk-Takers
We approach uncertainty with forethought and determination; we work independently and cooperatively to explore new ideas and innovative strategies. We are resourceful and resilient in the face of challenges and change.

Balanced
We understand the importance of balancing different aspects of our lives—intellectual, physical, and emotional—to achieve well-being for ourselves and others. We recognize our interdependence with other people and with the world in which we live.

Reflective
We thoughtfully consider the world and our own ideas and experience. We work to understand our strengths and weaknesses in order to support our learning and personal development.

G11地域清掃活動

4月22日（金）のアドバイザリーの時間、G11は清澄白河周辺のゴミを集めるために、グループ分けされ、それぞれの先生方に割り当てられました。軍手、トング、そしてたくさんのゴミ袋が渡され、道端や茂みで見つけたゴミを拾いました。各グループには、清掃する道路や場所が割り当てられました。

学校を出発する前に、このゴミ拾い活動はグループ間の競争のようなものになり、私たちは学年内で最も多くのゴミを拾うことを決意しました。私のグループの大半は先を急ぎ、最も目立つ大きなゴミを拾っていましたが、私とEanyaは茂みに隠れた小さなゴミを拾いながら後に残りました。茂みの中には、近くのコンフォートホテルのキーカードまでありましたが、大半はタバコの吸殻やコンビニエンスストアの食品パックでした。

地域が常に清潔に保たれるよう、ゴミ箱が見つかるまでゴミを持ち続けること、また喫煙者には携帯灰皿の使用を勧めていきたいと思います。ポイ捨てが完全になくなるのは難しいと思うので、アドバイザリーの時間に学校を出て、清澄白河周辺のポイ捨てされたゴミを拾うことも、地域貢献のひとつだと考えています。

Shona (G11B)

JMMUN（日本都市模擬国連）会議

KISTの代表者が模擬国連に参加

3月26日と27日、川崎の洗足学園で開催された日本都市模擬国連会議（JMMUN）にKISTのMUN代表8名が参加しました。参加者は、難民キャンプでの女性に対する性的暴力の防止や、コロナ後の世界におけるメンタルヘルス（精神衛生）の促進などのトピックを取り上げました。

私たちは2つのグループに分かれ、初級1はコロナ後の世界におけるメンタルヘルスについて、初級2のグループは難民キャンプにおける性暴力から女性を守ることについて話し合いました。私は後者の初級2のグループに参加しました。

この2日間で、私たちはたくさんの新しいことを学びました。ウルグアイ代表の**Kanade**（G7B）と私は、この国について調べるのにとても苦労しました。しかし、それでも私たちは積極的に議論に参加し、残念ながら採択はされませんでしたが、決議案も作成しました。また、私たちは他の参加者の熱意に驚かされました。例えば、ノルウェーの代表（他校の女子生徒）は、他国の発言に反対するたびに何度も立ち上がって壇上に上がり、発言をしていました。彼女のその努力は見事、「Honorable Delegate」賞を受賞することで報われました！

もうひとつの委員会では、コロナ後の世界におけるメンタルヘルスの問題を議論していました。そして決議案についても、もう少し運があったようです。KISTの代表たちが作ったものではないのですが、なんとか1つ可決しました。彼らは私たちと同じ部屋にいなかったにもかかわらず、私たちのグループの人々とすぐに友達になり、**Youn Ho**（G7B）は八王子の工学院からのもう一人の参加者と「親友」になりました！

2日間の会議を終えて、新しくできた友人たちと駅まで歩きました。遠くは軽井沢の寄宿舎に住んでいる参加者もいれば、日本の公立学校に通っている人もいて、異なった場所や環境にいる私たちがまた全員一堂に会するのは不可能に近いとも感じました。

今思えば、会議での議論もとても熱かったのですが、一番楽しかったのは、閉会式後の最後の2時間の自由時間で、大きなスピーカーから流れる曲に合わせてみんなで調子外れに歌ったり、みんなと連絡先を交換したりしたことでした。

Xintong (G6A)

洗足学園でのKIST代表団

夏休み中のセルフケア

学年度末の振り返りと、夏を健康に過ごす方法

1年はあっという間に過ぎていきます。ある人はホッと一息つき、ある人にとっては、夏休みを前にしてワクワクする時間でもあります。この時期は、学校生活の中で起こった成長や変化を振り返る貴重な時間でもあります。私たちは、直面した課題や失敗を認め、自身の成長を祝うべきです。

ご家族によっては、今年の夏はパンデミックによる長期間の別離の後の再会を意味します。しかし、COVID-19の影響で、まだ自由に出入国できない国もあります。また、ご両親・保護者の方が夏休み中もお仕事をされている場合、ご家族が一緒に過ごせる時間は限られています。この夏、どこで過ごそうとも、最高の休暇を過ごすためには、忙しく、かつ成功した1年を終え、休息と回復のための時間を確保することが重要です。

ここでは、学校生活から離れた環境でのセルフケアのヒントをご紹介します。

1. 外出し、友人や家族など少人数のグループと関わることで、社会的引きこもりや社会的孤立を回避する。
2. エンドルフィンを増やすために、1日30～45分程度の定期的な運動を心がけ、活動的に過ごすこと。灼熱の夏の期間は水分補給を確実に行うこと。
3. 睡眠、気分、エネルギーのレベルを高めるために、健康的な食事と規則的な食事スケジュールを維持するように心がけましょう。家族で料理をしたり、学校があるときにはできなかった新しいレシピに挑戦してみましょう。
4. 家族で健康的な睡眠スケジュールを維持する。睡眠は私たちの精神衛生に不可欠な要素です。毎日8時間の睡眠を確保するようにしましょう。
5. 休日の時間を利用して、エネルギーを再集中させ、くつろぐ時間を持つ。休みの間に、たまっているタスクを片付ける人も多いでしょう。本を読んだり、アートやクラフトをしたり、音楽を聴いたり、趣味に没頭したりと、自分のためのリラックスタイムを確保するようにしましょう。

もし、私たちが紹介した5つの秘訣があなたの想像力をかき立てるものでなかったとしても、1か月間の事ですので、試してみる価値はありますよ！ある人には有効でも、他の人にはそうでない場合もあります。重要なのは、まず試してみることです！

この夏休み中に何をするにしても、自分自身を肯定し、楽しいと思えることに集中しましょう。8月にまたお会いできるのを楽しみにしています。

Matthew Archer and **Hannah Cowie**
Student Care Coordinators (Secondary)

1. Go for a walk or run	2. Listen to your favourite music	3. List ten things you are grateful for	4. De-clutter a space, work or home	5. Get active for half hour
6. Watch a program or film you enjoy	7. Speak to someone you love	8. Eat one of your favourite foods	9. Practice a hobby	10. Go outside
11. No plans day! Let spontaneity take over	12. Meditate for at least ten minutes	13. Walk 5,000 steps	14. Try or Practice Yoga	15. Take a photo of something that brings you happiness
16. Go to bed earlier than usual	17. Take 30 minutes out of your day to read	18. Cook a new recipe - sweet or savoury	19. Spend time with family or friends	20. Have an evening without social media
21. Do some drawing/painting/colouring	22. Play a game you enjoy	23. Go for a walk somewhere you enjoy being	24. Minimise caffeine intake, maximise water intake	25. Treat yourself - face mask, lay-in, shopping
26. Do some gardening, or tend to indoor plants	27. Speak to a friend you haven't spoken to in a while	28. Make an effort to do three kind gestures throughout your day	29. Clean your car or home	30. Find a new hobby
31. Plan a trip/holiday/day-out				

参考:
The Insurance Institute of Ipswich, Suffolk and North Essex. **July Wellbeing Calendar**

ビジネスコンサルタント体験

ワークショップの振り返り

2022年5月13日（金）、エッグフォワードのMs. Ayako Masunagaが、G9 IGCSE Businessの学生を対象に、コンサルタントという職業についてのワークショップを提供してくださいました。5人1組のグループに分かれ、論理的思考力とコミュニケーション力を駆使して、コンサルタントの基本について議論しました。また、メインアクティビティでは、次のようなシナリオが提示されました。

あるビルのオーナーが、あなたに以下の問題の解決策を依頼してきました。このビルは地上5階建て、地下2階で、古いエレベーターが1基しかありません。テナントや来客から、エレベーターの待ち時間が長すぎるという苦情が来ています。この状況を改善するために、オーナーは何をすべきなのでしょうか？

個々で少し考える時間を持った後、解決策をグループのメンバーと共有し、各グループがチームとして最適な解決策を練り上げました。25分という制限時間の中で、アイデアを決め、詳細なプランを完成させ、イラストを描き、クラスで発表するためのリハーサルを行いました。各グループは3分間で、クラスメートとエッグフォワードのスタッフに向けて自分たちのアイデアを発表しました。Ms. Masunagaはシナリオのオーナーとして、発表後に各グループに質問を投げかけ、論理的な答えと解決策を効率的に提供するよう求めました。また、私たちのアイデアやプレゼンテーションのスキルについても、有意義なフィードバックをいただきました。

このワークショップを通じて、私たちはコンサルタントとしての基本を認識することができ、ワークショップの最後に行われたアクティビティでは、シナリオに対するプロフェッショナルなアプローチを体験することができました。全体として、私たちは今後の新しいキャリアの選択肢をまた一つ得ることが出来、コンサルタントとしてクライアントのためにプランを練るプロセスを学ぶことができました。コンサルタントの目的は、「最終的なゴールを考え、目的を作り、そして最も効果的な解決策を生み出すために、情報と状況の内訳を提供することである」と学びました。

Feiru (G9B)

Schoology導入について

来年度よりデジタル学習プラットフォームが、「PowerSchool Learning」から「PowerSchool Schoology Learning」に更新されることになりましたのでお知らせいたします。Schoology Learningのプラットフォームは、世界中で6万校以上、2000万人以上のユーザーに利用されている人気のシステムです。パワフルでモダンなプラットフォームであり、今回の変更はコミュニティの皆様にとって有益なものになると考えています。

今後数週間のうちに詳細をお伝えし、携帯電話やタブレット向けの新しいアプリをご紹介できることを楽しみにしています。このアプリによって、コースやその他の学校情報へのアクセスがより簡単になることを期待しています。

IT Support Team

schology®

ASIJでの模擬国連会議

2022年ASIJでの模擬国連での経験

今年のKISTの模擬国連（MUN）クラブのメンバーは、3月4日と5日に行われたアメリカンスクール主催の、ASIJ MUN 2022に参加する機会を得ました。生徒たちは、国連委員会と国別代表団を割り当てられました。参加者は関連する実社会の問題に対処するために、国連活動を模した正式なコミュニケーションスキルを実践しました。ASIJ MUNは、生徒たちにグローバルな外交の世界に浸り、各国がどのように正式な交流を行うかを理解する機会を与えてくれました。ASIJ MUNに参加した生徒の皆さん、素晴らしいパフォーマンスを披露して、またその活躍に見合う賞の受賞をうれしく思います！

KIST MUNチーム

Arnav（G10A）: Most Diplomatic Delegate(最優秀外交官）、経済社会理事会（ECOSOC）
Kiichiro（G10A）: Most Diplomatic Delegate（最優秀外交官）、人権理事会（HRC）
Remi（G10B）: Honorable Mention（奨励賞）、世界保健機関（WHO）

Devaj（G11A）

代表者からのコメント:

MUNへの参加は久しぶりでした。特にCOVID-19の発生以来、直接会議に参加することが難しくなっていました。しかし、ようやくこのような充実した経験をすることができました。正直なところ、MUNの初日、私は他の参加者よりも発言しないことを選択しました。それは、他の参加者の素晴らしいスピーチやカリスマ性に圧倒されてしまったからです。しかし、私はすぐに、この会議を最大限に活用し、自分のベストを尽くす努力をしなければ、とてももったいないと思いなおしました。

2日目、私は全力を尽くそうという新たな決意を持って会場に向かいました。そのことで自信がつき、2日目は終始、積極的に発言し、コミュニケーションをとることができました。2日目の後半は、カジュアルで楽しいディベートをすることができ、雰囲気も明るくなりました。この時点で、私たちは外交的でなければならない代表者ではなく、ふざけ合う友人になっていたのです。より個人的なレベルでお互いを知ることができ、最後には委員会メンバーとハイタッチをして笑いっぱなしでした。

私は、世界保健機関（WHO）の委員会で、偽造医薬品の最小化、医療におけるAIやロボットの管理などを提唱するロシア代表を務めました。自分には馴染みのないテーマでしたが、この会議を通じて、この新しく、興味深いテーマに没頭することができました。この会議がなければ、このような経験はできなかったでしょう。そして、この機会から得たものは、私の人生の中で忘れられない思い出となりました。

Remi (G10B)

ASIJ MUNは、私にとってG8年生以来の久しぶりのMUN会議で、申し込んだ日から参加するのが楽しみでした。私がMUNについて最も好きな点は、それが私たちに関係があるということです。私たちに影響を与える現実の問題を率先して認識し、研究し、解決策を見出すことは、私にとって逃すことのできない機会なのです。ASIJ MUN2022で、私は経済社会理事会（ECOSOC）に参加しました。私たちは、気候変動とLEDCからの「頭脳流出」の問題について議論しました。

MUNの初日は、他校の代表が私よりもずっと早くイニシアティブを取り、どの決議案も自分が主導権を握ることができないという私にとって非常に困難なものでした。また、久しぶりの会議であったため、手順がよくわからないということもありました。しかし、落ち込むことなく、この時間を有意義なものにしようと努めました。私は、共通の目標に向かうために、他の決議案の修正案や条項を提出しました。

2日目にはMUN会議のスタイルに慣れ、ある決議案を作り、メイン提出者の役割を果たすことができました。この日、私は自分のしていることに自信を持ち、より多くのことで会議に貢献することができました。ASIJ MUNは全体的に楽しく、やりがいがあり、また、関東の学生たちと交流する機会にもなりました。問題に対する人々の様々な視点を学ぶことができ、解決に向けて協力することは、充実した経験でした。また、休憩時間には他校の生徒と仲良くなり、友達になることができました。MUN大会はもちろんですが、関東地区の友達を作れたことも思い出に残っています！

Arnav (G10A)

数学科ニュース

今年、KISTのセカンダリースクールでは、さらに多くの生徒が積極的に数学のイベントに参加してくれました。これらのイベントは、生徒が創造的な数量的思考力を養い、将来の数学の授業で成功するための素晴らしい機会を提供してくれました。また、生徒たちは、自分の興味や能力を公の場で披露し、その成果を認めてもらうこともできました。

以下は、今年度の数学イベントにおけるKIST生の成果の概要です。

HMMTとAMC 8

KIST生は、今年初めて、HMMTとAMC8（American Mathematics Competition 8）に参加しました。

HMMTは、国内外の数学オリンピックの上位入賞者を含む1000人近い生徒が世界中から集まる、世界最大かつ最も権威のある高校生の大会の一つです。

今年は、G9からG11までの9名が参加しました。**Jessie**（G11A）、**Su Yeon**（G11B）、**Haruto**（G10A）、**Kaito**（G10A）、**Shaunak**（G10B）、**Xin Yi**（G10A）、**Shota**（G9B）、**Yi Ming**（G9B）、**Zayan**（G9A）です。

The Mathematical Association of America（MAA）が主催するAMC 8は、ミドルスクールの生徒を対象とした全米屈指の数学コンテストで、次世代の「問題解決者」たちの数学的能力を育成するために企画されています。今年は、7年生から8年生までの16名の情熱ある生徒がAMC8に参加しました。

KPASS Math Field Dayイベント

3月8日（火）に、G6からG11までの26名が、オンラインイベント「KPASS Math Field Day」に参加しました。Math Field Dayは、関東地方の13校から260名以上の生徒が参加し、数学に対する知識と熱意を披露する大会です。生徒たちは、問題解決能力や一般的な数学の理解度を試す活動に取り組みました。生徒たちは、学年ごとに行われる個人テストや、他校の生徒とチームを組んで行う課題などに取り組みました。

2022 Math Field Day

以下生徒が個人の部でKISTを代表しました。

- **G11部門の1位**
  Gi Jeong (G11A)
  Tomoko (G11B)
- **G11部門の3位**
  Amey (G11A)
  Heet (G11B)
- **G8部門の1位**
  Jiani (G8A)
- **G8部門の3位**
  Chih Jin (G8A)
  Mamiko (G8A)
- **G7部門の1位**
  Tongxi (G7A)
- **G6部門の1位**
  Tyler (G6A)

Energizer Roundでは、KIST生を含むジュニアチーム3組と、シニアチーム3組が上位3位に入賞しました。

Waterloo大学の数学コンテスト

2月24日に、G9からG11までの24名が、毎年恒例のWaterloo大学の数学コンテストに参加しました。Pascal、Cayley、Fermatの各コンテストには、世界各国から合計35,153人の生徒が参加しました。

この国際的な参加者の中で上位25%に入るスコアを達成した生徒を称えたいと思います。彼らは、その優れた成果に対して、Certificate of Distinction（優秀賞）を授与される予定です！

Certificate of Distinction受賞者:

Fermat contest (Grade 11)

Gi Jeong (G11A)
Tomoko (G11B)
Akanksha (G11B)
Archita (G11A)

Cayley contest (Grade 10)

Kaito (G10A)
Haruto (G10A)
Xin Yi (G10A)
Shaunak (G10B)
Arnav (G10A)
Aina (G10A)
Lance (G10A)
Selin (G10A)
Shreyas (G10A)

Pascal contest (Grade 9)

Fumie (G9A)
Tomoyoshi (G9A)
Zayan (G9A)
Yi Ming (G9B)

KISTの優秀な数学者の皆さん、本当におめでとうございます！来学年度は、さらに多くの生徒が数学のイベントに参加してくれることを楽しみにしています。

Nanami Sakuma
Subject Area Coordinator—Mathematics

セカンダリーELS

一年の学習を通して多くの方がすでに気づかれているように、適切かつ意欲的な語彙が、私たちのライティングを「OK」から「特別」にする鍵になります。そのため、英語で学ぶ者は語彙を増やし続けることが不可欠です。もちろん、これは言うは易く行うは難しで、特に夏が近づくと、多くのKIST生は英語漬けの環境から離れることになります。文法は夏休み中も安定している基盤ですが、語彙はそうではなく、暑さのため、認識されなくなったりします。

もちろん、夏休みは一年の疲れを癒すのに一番大切な時期です。しかし、2022–23年に向けて充電しながら、語彙を増やす方法もたくさんあります。

読書

はい、これは「ワオ、そんなこと思いつかなかったよ、あまりに当たり前で！」という内容かと思いますがですが、どうぞお付き合いください。そうです、本を読みましょう。本は素晴らしいもので、文脈の中で優れた語彙を身につけ、心を計り知れない冒険へと導いてくれるでしょう。ELSでは、本を読むことを非常に大切にしています。この夏は、通常の読書に加え、インタビュー記事などを読むことをお勧めします。好きなアーティスト、俳優、バンドなどのインタビューから話し言葉を読むことで、リーディングとリスニングの両方のスキルを向上させることができます。

個人の話し方は、声の指紋のようなものです。私たちが使う言葉、話し方のリズム、既定の文法構造は、無意識のうちに選択されるものですが、一度注意し始めると非常に一貫性があります。私たちが本を読むときに経験する言葉の多くは、編集され、下書きされ、多くの投稿者のフィードバックやインプットの結果であることが多いため、この一貫性が失われています。逆に、ある人の話し言葉を一貫して読んでいると、私たちの脳は自動操縦を始め、非常に馴染みのあるものを捨てて、この夏の目標でもある、新しく馴染みのない語彙だけに集中することができるようになるのです。

観る

夏は暑い。
そして虫もいます。
家の中にいるのもアイディアです。
その（年齢に合った）シリーズを（健康的な範囲で）見ましょう。
文脈の中で話す語彙を増やすには、シリーズものを見るのも良い方法です。これで、話し手がどのように文章を構成し、知らない単語を使用するかに慣れることができます。さらに、字幕をつかって、新しい単語を脳の中に入れておくことも効果的です。

遊ぶ

セマントリス：Googleの研究室から生まれたセマントリスは、AI技術を駆使した単語連想ゲームです。コンセプトと語彙のつながりを深めるのに最適で、スピットファイアのゲームプレイと頭の体操を融合させています。

スクラブル/ワーズ・ウィズ・フレンズ：夏休みだからといって、一人で遊ぶ必要はありません。ボードやタイルを使った昔ながらの遊びでも、オンラインで遊ぶのでも、スクラブルやその他の言葉遊びのゲームは、神経の可塑性や言語の実験を促し、そして、ただただ楽しいものです。

クロスワード：脳の可塑性をさらに高めるクロスワードは、古くからあるゲームですが、今もなお人気のあるゲームです。クロスワードは、単語の意味や同義語だけでなく、その構成についても考えさせ、オートコレクトの世界ではますます重要視されているスペリングの上達に最適な方法です。

Jade Bonus
ELS Coordinator (Secondary)

https://www.instagram.com/natu_ralfoods/

2021–22年度、KISTでのCAS活動

グリーンチーム

グリーンチームは45人以上の生徒で構成されるServiceグループで、学校コミュニティーの中に緑地を増やし、ゴミを減らすことを目的としています。今年は、エレメンタリーの屋上にある屋上庭園の整備を続けています。今年3月には「緑の募金活動」を実施し、150件以上の寄付・寄付金をいただきました。その寄付金をもとに、カレーリーフ、キャベツ、コリアンダー、そのほかにかわいい花をつけるものなど、さまざまな種類の植物を植え、セカンダリーの生徒たちが環境・植物と触れ合う機会を持てるようにしました。来年からは、エレメンタリーの生徒にもこの活動に参加してもらい、環境を大切にすることの重要性を伝えていきたいと考えています。

Global Youth Enterprise Challenge

Global Youth Enterprise Challengeは、与えられた課題に対して革新的なソリューションを創造し、ビジネスプランとビデオを発表する12時間のビジネスコンペティションです。今年は、**Archita**（G11A）、**Devaj**（G11A）、**Gini**（G11A）と私（**Sara** G11A）がこのコンペティションに参加しました。エネルギーの無駄を減らす製品を作るという課題でしたが、熟考の末、塩水などの自然の電解質で動かせる紙電池を作ることにしました。このコンペティションは、私たちの創造的思考力、チームワーク、そしてタイムプレッシャー下でのリサーチ能力が試される、学校では経験したことのないものでした。財務計算からビデオ編集まで、全員が自分の個性やスキルを活用することができ、その結果、最終的にとても誇りに思える製品を作ることができました。コンペティションとはいえ、充実した素晴らしい時間を過ごすことができたので、参加するだけでも非常に意義があると思います。ぜひ、皆さんも来年参加してみてください！

Sara (G11A)

Sara, Devaj, Archita, Gini (G11A)

GYECの課題で、私たちのグループは、大気中の二酸化炭素濃度を下げ、かつ確実に利益を上げるビジネスプランを作成することが求められました。私たちはビジネスプランとビデオを作成する必要がありました。ビジネスプランには、事業のミッション、製品の説明、マーケティング方法などを明確に記載する必要がありました。また、最初の数年間の財務予測も計算する必要がありました。ビデオでは、デジタル3Dモデルと、製品の仕組みや環境に対する効果を簡単に説明する必要がありました。限られた時間の中でこれらを作るのは大変でしたが、私たちグループメンバーにとって忘れられない良い経験となりました。このコンペティションでは、イノベーションのプロセスを楽しみ、起業家がどのように議論し、ビジネスアイデアを思いつくかを知ることができました。このコンペティションは、私たちを、利益を上げたいと願うビジネスオーナーに近づけてくれました。

Shota (G9B)

Shota (G9B)、Aryan (G9B)、Zayan (G9A)、Tomoyoshi (G9A)、Yi Ming (G9B)

次のページに続く

前ページの続き

こども食堂

こども食堂グループは、低所得世帯の子どもたちに無料で夕食を提供することを目的としています。今年は主に2つのイベントを行いました。まず、12月にクリスマス・ギフトドライブを開催し、こども食堂に集う子どもたちのためにクリスマスプレゼントを集めました。KISTコミュニティの皆様のおかげで、500個以上のプレゼントを集め、YMCAの「こども食堂」に贈ることができました。次に、こども食堂チームは、江東区に新しいコミュニティ食堂を立ち上げるために、江東区の吉田議員にご協力しています。この取り組みにKISTがどのように貢献できるか、チームは吉田議員と積極的にアイデアを出し合い、7月に正式に食堂をスタートさせることにしています！

Food Donation Drive

By KIST Protect Our Planet (POP) and KIST Kodomo Shokudo

Who are we?

We are two service groups, POP and Kodomo Shokudo, that recently collaborated to have a weeklong food drive. POP, Protect Our Planet, is a service group that focuses to act upon the UN Sustainable Development Goals. The Kodomo Shokudo service group aims to help create a welcoming environment and provide affordable meals to low-income families.

Food Drive

From April 11th to April 15th, these two service groups conducted a food donation drive. Half of the donations collected were donated to Tokyo YMCA Shokudo and the other half were donated to Second Harvest. The Tokyo YMCA focuses on feeding children who rarely get to have supper with their families or who are left alone while their parents are busy with younger siblings. Second Harvest accepts donations from retailers, manufacturers, farmers, and individuals to deliver to charities, orphanages, women's shelters, homeless persons, and others in need. Thanks to the KIST Community, in total we were able to collect approximately 10 boxes, that were split evenly to donate to both organizations (5 boxes each).

We deeply thank the KIST Community for all the support and donations. Through these generous donations we were able to provide food and support those in need.

NHK SDGチャレンジャー

私（**Saanvi** G11B）は、SDGsの起業家が学生パネリストと議論するNHKワールドのSDGsチャレンジャーズプログラムに出演する機会を得ました。私が出演した回は、SDGsの6番目にある「清潔な水と衛生」に焦点を当てた回でした。その中で、LIXILが途上国に衛生設備を提供する「サトウ・トイレプロジェクト」の技術責任者である石山さんと対談することができました。今回のイベントで、持続可能な開発目標について考え、私たちが日常生活の中でどのように貢献できるかを考えることができました。このような貴重な経験ができて本当に光栄でした！

G5ディベートワークショップ

私（**Saanvi** G11B）は、この2年間、G5のためのディベートワークショップの開催と指導に携わる機会を得ました。このワークショップは、ディベートの経験者として、ディベートやパブリックスピーキングに関する私の経験やアドバイスをG5と共有し、ディベートだけでなく、PYPエキシビションにも役立てる機会となっているのです。このワークショップは、私の情熱を共有する素晴らしい機会であり、G5 の生徒たちと一緒に、私が学んだことを役立て、伝えることは、非常にやりがいのあることです。

編集・まとめ**Saanvi**（G11B）と**Sara**（G11A）

図書室ニュース

お気に入りの本を投票中

さくらメダル入賞作品

この1年間、生徒の皆さんには、サクラメダル図書を読んで、お気に入りの作品に投票するよう呼びかけてきました。そしてこのたび、日本のインターナショナルスクールの全生徒の投票が集計され、受賞作が発表されました！

ミドルスクール部門の入賞作は：

- **1st:** *Bloom* (Kenneth Oppel)
- **2nd:** *When Stars are Scattered* (Victoria Jamieson and Omar Mohamed)
- **3rd:** *Resistance* (Jennifer A. Nielson)

KISTのミドルスクールでの人気作は：

- **1st:** *The Things She's Seen* (Amber and Ezekiel Kwaymullina), *The In-Between* (Rebecca Ansari)
- **2nd:** *Bloom* (Kenneth Oppel)
- **3rd:** *Dark Blade* (Steve Feasey), *Ikenga* (Nnedi Okorofor), *Very, Very, Very Dreadful: The Influenza Pandemic of 1918* (Albert Marrin)

絵本部門の入選作は：

- **1st:** *Bad Dog* (Mike Boldt)
- **2nd:** *This Book is Gray* (Lindsay Ward)
- **3rd:** *Mio the Beautiful* (Kinota Braithwaite and Setsuko Miura)

エレメンタリーのチャプターブック入選作は：

- **1st:** *City Spies* (James Ponti)
- **2nd:** *Glitch* (Laura Martin)
- **3rd:** *The Lion of Mars* (Jennifer L. Holm)

エレメンタリーのグラフィックノベル入選作は：

- **1st:** *Cat Kid Comic Club* (Dav Pilkey)
- **2nd:** *Allergic* (Megan Wagner Lloyd)
- **3rd:** *Wings of Fire (Dragonet Prophecy)* (Jennifer A. Nielson)

KISTエレメンタリースクールでの人気作は：

- **1st:** *Eyes that Kiss in the Corners* (Joanna Ho)
- **2nd:** *Glitch* (Laura Martin)
- **3rd:** *Cat Kid Comic Club* (Dav Pilkey)

Ms. Goanのお気に入り・・・
Everything Sad is Untrue by Daniel Nayeri, *When Stars are Scattered* by Victoria Jamieson and Omar Mohamed, and *The In-Between* by Rebecca Ansari.

Ms. Priyankaのお気に入り・・・
Nobody Hugs a Cactus by Carter Goodrich, *Miraculous* by Jess Redman, and *Baloney and Friends* by Greg Pizzoli.

まだ読んだことのない方、受賞作に興味のある方は、LMCやエレメンタリーの図書室でいつでも借りることができますよ！

新刊情報

CA図書委員会の親切なサポートのおかげで、LMCとElementaryライブラリーはそれぞれ76,500円相当の本を追加で購入することができました！これは、一部、寄付いただいた本を販売した収益によるものです。CA図書委員会のご寄付で購入した、LMCに近々届く新しい本の一部をご紹介します！

KIST Libraries Team

運動部最新情報

2022春季運動部ニュース

MS女子バスケットボール部

2019年以来の参加（2020年、2021年シーズンはCOVID-19のため中止）となったMS Girls' Cometsは、かなり経験が浅かったものの、非常にモチベーションが高い状態でした。KISTはA（主にG8）プールとB（主にG7）プールの両方に参加し、競争力のあるバスケットボールをするために非常に努力しました。ほとんどの試合で、KISTは相手チームを圧倒し、より良いディフェンスをしましたが、多くの好機で得点することができませんでした。唯一、女子が徹底的に負かされた試合はASIJ戦でした。Bチームは西町に勝利することができましたが、残念ながらAチームは全敗でした。5月7日にCAJで行われたシーズン終了後のAプールトーナメントで、KISTはQFでサンモールに22–12、コンソレーションゲームで清泉に20–11で敗れました。両試合とも、試合後半まで接戦でしたが、チャンスを逃したことが痛手となりました。チームキャプテンの**Ulala**（G8B）は、トーナメントが予定より大幅に遅れたため、2試合目（MS学生として最後の試合）の前に退場しなければなりませんでした。また、**Airi**の"inside"としての存在感がなくなるのは寂しいですが、カナダでの幸運を祈っています。

Coach Ota

MS男子野球部

野球部も試合に参加できたのは2019年以来で、Nogamiコーチの下、生徒たちは目覚ましい活躍を見せました。KISTはシーズン中、YISとSt. Mary'sを破り、St. Maurに敗れました。5月7日にASIJで行われたトーナメントでは、KISTはASIJ第2チームに3–0で勝つことができましたが、SFでは優勝したSt. Maurに7–0で敗れました。3位決定戦では、ASIJの1stチームと対戦し、6–5で惜しくも敗れました。

素晴らしいシーズンでした。来シーズンは初めてJV野球に参加する予定なので、選手たちの続投を願っています。

Coach Nogami、熱心な指導、ありがとうございました！

JV男子サッカー部

COVIDにより、冬季シーズンのほとんどの試合がキャンセルとなったため、KISTは関東春季リーグに参加し、通常対戦しない学校との試合も経験することができました。KISTはCAJと2回、YISとSt. Maurと対戦しましたが、どのチームもVarsityの選手が在籍していました。男子生徒は各試合とも接戦を繰り広げ、St. Maurでは1–1の引き分けという最高の結果を残すことができました。

多くの選手がISTAAフットサルシーズンに参加し、4名のG12が戻ってきました。これまでのところ、HS男子フットサルチームは1勝1分けで、あと2試合、BSTでのトーナメントを控えています。最後に参加できたフットサル大会は2019年でしたので、G12男子が格好良く出られることを願っています。**Daigo**、**Faisal**、**Kemo**と**Rei**、頑張れ!

冬季シーズンから、少年たちと長い道のりを共に歩んできた**Coach Smith**に感謝します！

JV女子サッカー部

KIST JV Girls'チームが初めて参加したセミ/フルシーズンでした。若いチームであり、彼女たちの経験のほとんどは、2年前のMS女子チームのものでした。彼女たちはBuckコーチのもとで、非常に懸命に練習し、対戦したすべての学校に対して競争力のあるサッカーをすることができました。BST、CAJ、YIS、Seisen、そしてSeishin（ホームで3–2の勝利）。今回もBST以外の学校はVarsityの選手が出場し、KISTはG9–G10の選手で構成されていました。女子の多くは現在、ISTAAフットサルに参加しており、5月30日にコロンビアと初戦を迎えます。今後のフットサル大会、そして6月11日のISTAAトーナメントで良い結果が得られることを期待しています。

毎週、膝の大怪我を抱えながらもグラウンドに出てきてくれた**Coach Buck**に心から感謝します！

ISTAA MS男子＆女子フットサル

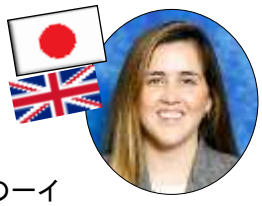
MS女子は、参加校が少なかったため、残念ながら今シーズンはTISとの1戦のみとなりました。MS男子はすでに数試合を終え、TIPSを11–0、TISを11–1で破り、アウェーでAobaに5–2で敗れました。今シーズンの締めくくりとして、NEWと対戦します。

Coach Archerと**Coach Buck**に感謝します。

すべての試合結果、チーム名簿、その他の情報は、KISTコミュニティの誰もが閲覧可能なPSL KIST Athleticsのページで確認することができます。すべての試合とほとんどの練習日は決定していますので、夏休みに入る前にこのページをチェックしてください。生徒とご家族の皆様には、これらの日に合わせて計画を立てられるよう、強くお勧めします。KIST Athleticsでお子さんをサポートしてくださることを本当に感謝しています！

Dennis Ota
Athletics Coordinator

Staff 10!



今月のStaff 10!では、2020年8月にセカンダリースクールの地理教師として加入した**Hannah Cowie**をご紹介します。Ms. Cowieは教員業務に加え、G10Bのホームルームアドバイザリーアシスタント、G10～G12の生徒ケアコーディネーターを務めています。

1) 出身地について面白いことを教えてください。
私は、イギリスのコベントリーという街で育ちました。この街は第二次世界大戦で空襲されたことや、Godivaチョコレートのロゴにもなっているレディ・ゴディバで有名です。最近では、2022年の文化都市に選ばれています。コベントリーには「ひどい」サッカーチームがあり、Ska音楽の発祥の地であることも誇りに思っています。The Specialsの"Ghost Town"を皆さんもぜひ聴いてみてください。

2) 世界で一番好きな場所はどこですか？
私の一番の思い出は、タスマニアデビルの故郷であるオーストラリアのタスマニア島でのことです。オーストラリアで冬の間、キャンピングカーで1週間かけて島を一周しました。特にベイ・オブ・ファイヤーは、夕日を見るのに最高の場所でした。

3) チャンスがあったら会ってみたい人は誰ですか？その理由を教えてください。
デービッド・アッテンボローに会ってみたいです。彼は伝説的なイギリスのアナウンサーで、いくつかの最高の自然ドキュメンタリーのナレーションを担当しています。彼は真の自然保護主義者であり、私たちの環境のために多くのことを成し遂げてきた人物で、最も素晴らしい声の持ち主でもあります。

4) 何か特別なスキルやタレントをお持ちですか？
今でも一輪車に載ることが出来ます。

5) ご自身についてあまり知られていないことを教えてください。
私には4分のースコットランド、4分のーイギリス、半分台湾の血が流れており、東京生まれです。

6) あなたにとって一番の宝物は？
私は、同じミドルネームを持つ、曾祖母の婚約指輪を譲り受けました。失くしたり壊したりしないか、いつもビクビクしています。でも、だからこそ、何にも代えがたい私の大切な宝物なのだと思います。

7) あなたはどのIB学習者像を身近に感じますか？その理由もお聞かせ下さい。
ケアコーディネーターとしてはやはり、**思いやり（caring）**を選択しないわけにはいかないでしょう。また、KISTの生徒の多くがこの学習者像を反映していることをとても誇りに思っています。KISTの生徒たちは、いつも自分の時間と労力を使って、他の人を助けたり、良い目的のために募金活動をしたりしています。

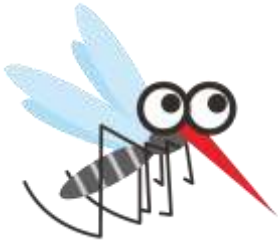
8) もう一度人生をやり直せるとしたら何か他のことをしたいですか？
ワーキングホリデー中に、もう1年オーストラリアに滞在していればよかったと思います。1年間住むには素晴らしい場所だったので、もう1年いて西海岸やノーザンテリトリーを探検すればよかったと思っています。

9) 自分を高めるために今やっていることは？
私は、もっと活動的になり、もっと本を読むように心がけています。これは、私の健康と心のために改善しようと思っている継続的な作業です。

10) ファンに一言お願いします。
#Test negative, stay positive.（PCRは陰性、気持ちは陽性）

オーストラリアを堪能し、新しい友人を作っているMs. Cowie

保健便り



科による虫刺され

梅雨の季節に入るとメスの蚊は、流れのない淀んだ水を産卵場として利用し、卵を孵化させ蚊の繁殖も盛んになります。メスの蚊は人間や動物を刺して血を吸いますが、オスの蚊は植物の汁などをエサにしており人間には無害です。

虫刺されを予防するには

家の周辺で蚊の孵化を減らす

- 屋外に水溜まりや水が淀んだ状態を放置しない：例、雨どいを詰まらせているゴミなどを毎週、取り除き流れの滞りを防ぐ。バケツ、鉢、鉢の水受け皿、プラスチック容器に残っている水を空にする。
- 野外にある使用していないペット用フードボウルや水入れを片付ける。
- 雑草の除去：蚊は草や木が生い茂った雑木林を好んで生息します。芝を刈り、庭の手入れを行い蚊が寄り付かない環境作りが大切です。
- 窓や玄関に網戸などスクリーンを使用し、屋内に蚊が侵入するのを防ぐ。

屋内の対策

薄暗く湿気の多い場所も蚊が好むので注意しましょう。

- 台所のシンク下
- お風呂場
- クローゼットの中
- 家具の下
- 洗濯場

子どもを虫刺されから守るには

- 自然の中で遊ぶときは衣類で腕と脚を保護する。
- ベビーカーは虫よけネットを使用し乳幼児を蚊から守る
- 虫よけスプレーを使用する：子どもに使用する際には手のひら、目や口の周り、傷口に直接塗布するのを避ける。一度大人の手に塗布した虫よけスプレーをなじませてから子どもの顔に使用すると安全です。

蚊に刺されたときの症状と対処法

蚊は人間の血を吸うときにごくわずかな唾液を皮膚から注入します。この唾液にタンパク質が含まれており、大半の人は、このタンパク質にアレルギー反応を示し、免疫反応として腫れや痒みが起こります。蚊は人間から排出される二酸化炭素や化学物質を敏感に察知し刺します。

症状

- 患部が数分後に赤く腫れる
- その後、腫れが固くなり痒みが出現する
- 人によっては強い反応がみられ、患部が大きく腫れたり、水疱を形成する場合がある。

手当

- 刺された部位を石鹸と水で洗う。
- 患部をアイスパックなどで10分程度冷やし、腫れと痒みを緩和させる。
- 市販の虫刺され薬や抗ヒスタミンのクリームを用法用量を守りながら使用する。
- 掻きむしらないように気を付けましょう。子どもの鋭く小さな爪で引っ掻き皮膚に傷が付くとバクテリアが侵入し感染しやすくなります。お子さんの爪は短く切っておきましょう。掻きむしることで悪化することも教え、掻きむしらないよう説明するのが望ましいです。

Yukiko Yamazaki
School Nurse

参考資料:
Colleen de Bellefonds. (April 2020). *Treating and preventing mosquito bites in children.* What to expect. Retrieved from https://www.whattoexpect.com/toddler/childhood-injuries/mosquito-bites-in-children.aspx

KIST保護者会（CA）ニュース

2021ー22 CA活動概要

- KISTのCOVID-19安全対策ガイドラインに基づき、CA役員は保護者ボランティアの人数を限定し、安心・安全な活動を行うため協力し合いました。
- 毎月のCA定例会議につきましては、今年度は主言語を英語で行い、オンラインで開催しました。
- 保護者の皆様からいただいた寄付本で、販売会を実施しました。
- いつでも古本を寄付できる回収ボックスとテトラパックの回収ボックスをエレメンタリー校舎1階に試験的に設置しました。
- CAボランティア皆様のご協力いただき、MYPサービス活動である、江東区アダプトプログラムの付き添いを行いました。
- 中古制服販売会は、今年度は2回開催しました。
- Mr. White、Mrs. Hirakawa、Mrs. Wakasaによる「CAS・サービスのオンライン説明会」をサポートしました。
- G10A Rintaro お父様による「(ISC) 2 Safe and Secure Online Session」をITサポートのMr. Arnoldにご協力いただきながら、CAが開催しました。
- MYPサービスグループ「KIST HEART Club」をサポートし、UNHCRへの寄付金としてCAは16,163円を集めることができました。

新蔵書（抜粋）

・・・CAの収益と寄付金でMs. Shannonが手配して下さいました

- *World War I*: DK Foreign Language Book
- *I am Jazz*: Jessica Herthel
- *This School Year is the Best*: Kay Winters
- *Guiness Book of World Records*
- *Mistborn Triology*: Brandon Sanderson
- *Water: A Biography*
- *Short Stories in Japanese* (2冊)
- *First Person Singular*: Haruki Murakami
- *Endgame*: Malorie Blackman
- *Last Night at Telegraph Club*: Malinda Lo
- *Tokyo Ever After*: Emiko Jean
- *Song of Achilles*: Madeline Millera

回収ボックス

G4A Minatoくんのお父様のデザインによる寄付本とテトラパックの回収ボックス

CA役員 新メンバー

Mari Babikova
President
Parent of Emma (G2A)

Priyanka Nadkar
Vice President
Parent of Ashlesha (G4), Aneesha (G1B)

Reiko Ohashi
Treasurer
Parent of Sara (G2B), Yuri (K1A)

Yuki Kanehashi
Secretary
Parent of Yuka (G4A)

2021-22年を通して献身的にサポートしてくださったCAボランティアの皆様に、心より感謝申し上げます。

CAの収益で新しく加わったPE用具

・・・エレメンタリーとセカンダリー両方に贈られました

インドアホッケーを楽しむKIST生

卒業生の皆様、ご卒業おめでとうございます！

全学年の保護者様がご参加いただけます
2022ー23

CAのご参加はこちらへ

大学ガイダンスニュース

コンテストへの参加は重要でしょうか。

夏が近づき、多くの学生がサマープログラム、インターンシップ、キャンプ、スポーツプログラムなどを検討し、忙しい日々を過ごしながら、将来のための経験リストを作っています。しかし、『The Comet』でほとんど取り上げていないのが、**各種コンテスト(大会)**のことです。

学校内ではすでにコンテストが行われているのですよね？

Euclid Mathematics Contestや、PSATやSATのスコアで優秀賞を受賞した生徒の写真のように、学校内で開催されるコンテストもありますが、生徒やご家族が検討できるような外部でのコンテストも数多くあります。

コンテストには全員参加すべきでしょうか？

必ずしもそうではありません。コンテストは、数学やスピーチなど、特定の分野で自分の能力を試したいという生徒には最適です。また、楽器や武道など、学校ではあまり使われない技術を身につけるのにもよいでしょう。数学に興味がある生徒が、そのスキルを身につけるためのインターンシップやボランティア活動を見つけるのは難しいことが多いのですが、そのような場合に大会・コンテストが役に立ちます。

大学進学とどう関係するのでしょうか？

一流大学への出願を目指す生徒には、しばしば賞について質問されることがあります。KISTの中で学業で賞を取ることは素晴らしいことですが、**大学は学校の外でチャレンジした生徒に最も感銘を受けるのです。**

検討すべき公式の大会リストはありますか？

残念ながらありません。しかし、世界中で人気のある大会のリストがあります。ここに掲載されている大会は非常に競争が激しいのでご注意ください。しかし、他の生徒が世界一になるためにどんなことをしているかを知ることは良いことです。これらのコンテストに挑戦する前に、まず先生に相談したり、他の参加可能な小さなコンテストについて調べたりするのもよいでしょう。

大会リスト

STEM (Broad or Mixed)
- S.T. Yau High School Science Award (Asia)
- Japan Students Science Awards
- Japan Science and Engineering Challenge (JSEC)

数学
- American Math Competition (AMC)
- High School Mathematical Contest in Modeling (HiMCM)
- Princeton University Mathematics Competition (PUMaC)
- Harvard-MIT Mathematics Tournament (HMMT)

物理
- AAPT Physics Bowl
- British Physics Olympiad (BPhO) & British Astronomy and Astrophysics Olympiad (BAAO)
- Physics Unlimited

生物
- International Genetic Engineering Machine Competition (iGEM)
- International Brain Bee (Japan Regional Entry)

コンピュータ/ロボティクス/言語/芸術
- Japanese Olympiad in Informatics (JOI)
- Japanese Olympiad in Linguistics (JOL)

科学研究インタビュー：東京大学グローバルサイエンスコース（GSC）

最近、多くの学生が授業以外のことを積極的に行い、出願のための経験を積み重ねるようになってきました。先日、G11の学生の一人に、東京大学GSCで行っている研究について話を聞きました。

Mr. Thomas Waterfall (TW): こんにちは、なぜKISTの外で研究をしてみようと思ったのか、その理由を教えてください。

Student (Ss): 先生たちから「教室の外でもう少し勉強するために何かやってみたら」と薦められたんです。それで、東京大学と埼玉大学の両方の講座に参加しています。両方に参加したからこそ、どちらの学習も両立する能力と、そこから生まれる価値を実感できました。

TW: 今日はその中でも、東京大学での研究について話しましょう。この研究にはどのくらいの時間を通夜していますか？

Ss: 研究自体は学年度を通して継続的に実施されており、夏休みなどの休みの時期に最も課題量が多くなる傾向があります。また、コースは2つのステージに分けられており、第1ステージでは80人の学生を受け入れ、最初の半年間で80人のうち20人が自身の提案した研究をおこなえる第2ステージへの提案に進むことができるようになっています。

TW: あなたの提案はどのようなものでしたか。また、ステージ1と2の違いはどのようなものでしょうか？

Ss: マルチエージェント強化学習（基本的には人工知能）を用いた発電所や電力網などのエネルギーシステムの最適化に関する研究を提案しました。第2ステージは、アカデミックな内容ではなく、スタッフや教授と直接作業や面談をするハンズオン的な内容です。このプログラムを通じて、高校生の研究員として研究室での研究に参加することができます。

次のページに続く

前ページの続き

TW: あなたと似たような分野に興味・関心があるまた、他の学生にとって、この経験はどのように役立つと感じますか？

Ss: 最初は、教えてもらう内容が高度で、それを短時間で把握しなければならないので大変でした。でも、研究を始めると、研究室の先生や学生との間につながりができるんです。これは、自分自身のレベルアップだけでなく、将来、大学受験や面接の際にも役立つと思います。すでに研究室での作業や研究をしているわけですから、スタートダッシュには強いですよね。

KIST卒業生コーナー

KISTバーチャルフォーラム：2022春

KIST Graduate Forumsの第二回目が先日終了しました。見逃した方のために、スケジュールを以下の表でご覧ください。ライブセッションは終了しましたが、次の4つのセッションはPowerSchool LearningのKISTv pageに、以前の12のセッションと一緒に掲載されます。KISTの卒業生の進学したこれらの学校について少し学ぶことができますので、ぜひご覧ください。

日時（JST）	卒業生名	卒業年度	発表言語	進学先の大学	他に出願した国
April 15 | 6 p.m.	Shirley	2021	English	Nanyang Technological University, Singapore	Japan/UK/Canada
April 25 | 8 a.m.	Krisha	2019	English	Hong Kong University of Science and Technology, HK	-
May 9 | 8 a.m.	Nimit	2020	English	University of Toronto, Canada	USA/UK/HK
May 23 | 8 a.m.	Michiko	2021	Japanese	Boston University, United States	Japan

夏のまとめ

毎年、生徒や家族から、"大学受験をサポートするために、この夏できることは何ですか？"という質問を受けます。私は、生徒たちがリラックスして充電するとともに、将来の集中力にも役立つような楽しいことをすることに集中してほしいと思います。例えば、海外のサマープログラムに参加する、上記のようなコンテストに参加する、老人ホームでインターンシップをする、あるいは友人と楽しくSATの準備をする、などが考えられます。**主な目的は、8月末の授業再開までに、少なくとも1つから2つの「役に立つ活動」を見つけつつ、充電できるようにすることです。**

来学期にまたお会いしましょう。夏の間、ご質問があればできるだけ早く返信しますので、メールでお問い合わせください！

Thomas Waterfall
University Counselor
thomas.waterfall@kist.ed.jp
Office hours: Monday–Friday, 8:30 a.m.–5:30 p.m.
University Guidance Office (3F Secondary Building)